

ファンドの運用状況

ー巨大な世界市場を舞台に成長を続ける日本のコンテンツー

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド
愛称:エンタメ∞ニッポン 追加型投信/国内/株式

- 平素は「ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンド(以下、当ファンド)」に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。本レポートでは、当ファンドの運用状況についてご紹介します。

ファンドの運用状況について

基準価額は回復基調も、振れの大きい展開

7月以降、基準価額は回復基調となりましたが、日々の値動きは大きい状況が続きました。株式市場では、AI関連株に投資家の関心が集まったり離れたったりする動きが続いており、コンテンツ関連株もその影響を受けています。

AI関連株が売られる局面では、業績の成長が確認できるコンテンツ関連株が改めて評価され、比較的堅調に推移しました。一方、AI関連株が再び上昇すると、コンテンツ関連株への資金流入が弱まる傾向もみられ、足元の基準価額は振れの大きい展開となっています。

成長力を背景に、再評価局面は継続を予想

AI関連株は、生成AIの普及やデータセンター投資の拡大を背景に、短期間での高い業績成長が期待されており、投資家の注目を集めています。このため、市場の関心がAI関連株に集中する局面では、コンテンツ関連株への資金流入が一時的に弱まる傾向が見られています。コンテンツ関連企業も、日本発コンテンツへの世界的な関心の高まりを背景に、中長期的な成長機会が着実に広がっています。デジタル配信などを通じて海外のファンへ作品を届けやすくなったことに加え、IPをゲーム・映像・商品・イベントなどへ幅広く展開することで、一つのIPから生まれる収益機会も拡大しています。AI関連企業とは成長の現れ方が異なりますが、認知度を高めたIPが地域や分野を越え、長期間にわたって収益を生み出せることは、コンテンツ企業ならではの強みです。

直近の4－6月期決算も全体として順調であり、こうした成長力は株価に十分反映されていないとみています。当面はAI関連株の動向に左右される場面も想定されますが、一時的な株価調整を投資機会と捉え、中長期的な再評価を見込める企業を選別していく方針です。

図表1 設定来の基準価額の推移

(期間:2025/9/26～2026/8/20、日次)



図表2 コンテンツ関連株とAI関連株の成長イメージの違い



※上記はイメージです。

(出所)各種資料を基にSBI岡三アセットマネジメント作成



コンテンツ関連株 4-6月期決算速報

期初想定を上回る堅調な業績進捗

コンテンツ関連企業の4-6月期決算では、**多くの企業で堅調な業績進捗が確認**されました。前年同期比で増益となる企業が多かったことに加え、1Qの段階から上期または通期の業績予想を引き上げる企業もみられ、会社側の期初想定を上回る事業進捗が示されました。

好調の背景としては、IPをゲーム、映像、音楽、商品など複数の領域へ展開し、収益機会を広げていることや、海外における販売・ライセンス収入の拡大が挙げられます。加えて、国内の娯楽消費も想定以上に堅調に推移しました。ゲームセンターなどのアミューズメント施設への来場や、キャラクター商品・イベントをはじめとする「推し活」関連の消費が活発で、各社の業績を下支えしました。**海外展開に加えて国内需要の強さも確認され、日本発コンテンツを取り巻く良好な事業環境が続いていると評価**しています。

図表3 4-6月期決算で見通しを変更した主な企業

企業名	変更点
バンダイナムコホールディングス 1Q(4-6月期)	上期営業利益予想 840億円→1,240億円
円谷フィールズホールディングス 1Q(4-6月期)	通期営業利益予想 190億円→225億円
ソニーグループ 1Q(4-6月期)	通期営業利益予想 1兆6,000億円→1兆7,200億円
サイバーエージェント 3Q(4-6月期)	通期営業利益予想 500~600億円→770億円

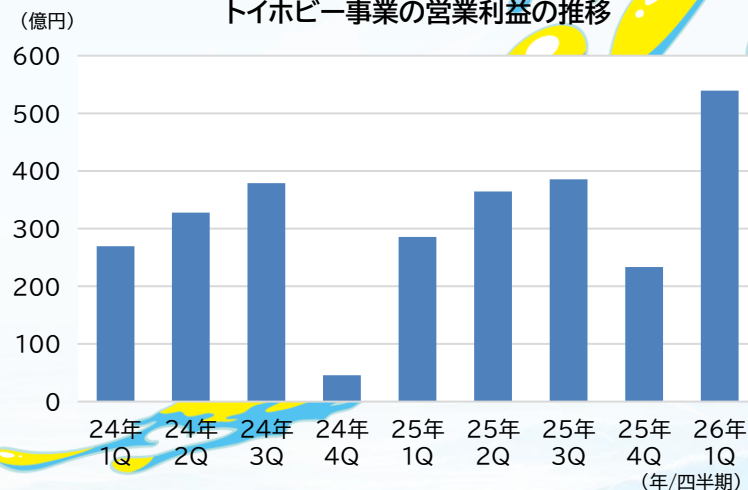
(出所)各社公表データを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表4 PlayStation月間アクティブユーザー数の推移



(出所)会社公表資料を基にSBI岡三アセットマネジメント作成

図表5 バンダイナムコホールディングスの
トイホビー事業の営業利益の推移



(出所)QUICKのデータを基にSBI岡三アセットマネジメント作成

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

4-6月期決算 Pick Up銘柄

6758 ソニーグループ

メモリ価格の上昇によるゲーム機の収益性悪化が懸念されていましたが、1Q実績では目立った悪影響は確認されず、懸念が後退する内容となりました。また、6月のPlayStation全体の月間アクティブユーザー数は前年同月比2%増の1億2,500万アカウントと、6月として過去最高を記録しました。**コスト面の懸念が和らぐなか、継続的な収益につながるユーザー基盤が拡大している点を評価**しています。

7832 バンダイナムコホールディングス

1Qはトイホビー事業のセグメント利益が539億円と、前年同期の285億円から大幅に拡大し、想定を上回る内容となりました。主力のガンダムに加え、「DRAGON BALL」「ONE PIECE」「たまごっち」など、複数のIPが幅広い商品カテゴリーで業績を押し上げています。**特定のIPに過度に依存せず、多彩なIPから継続的に利益を生み出す基盤が一段と強化されている点を評価**しています。

(ご参考) ソニーグループに関する最近の記事

ソニー、弱点の独自キャラ磨く

創出から育成まで一貫で展開

キャラ開発の専任チーム設立

「夜ふかしくまのネムー。」は
SNSフォロワー
10万人超。
アニメやグッズ、
海外展開も視野

体験型施設でキャラとリアルな接点作る

7月に東京・丸の内に
ミュージアム開設。
キャラの展示や
イベント開催

30年度までに売上高100億円の
IP育成を目指す

既存キャラも掘り起こし

ペットロボ「aibo」をIP展開

ロボは高額だが、
手軽なぬいぐるみなどの
グッズでファン層広げる

人気作を手掛けるが、 独自キャラが不足

IP	ソニーGの権利や関与内容	権利元など
鬼滅の刃	アニメ製作に関与	原作者や集英社
スパイダーマン	映画化権など	米ウォルト・ディズニー
きかんしゃトーマス	国内のグッズや映像化展開	米マテル

ソニーグループは独自のキャラクター作りを磨き、アニメや映画などの知的財産（IP）展開を目指す。専任チームを立ち上げ、イベントを催す体験型施設を整えた。IP市場ではサンリオの「キティ」など人気キャラの存在感が大きく、ソニーは独自キャラの不足が課題になっている。

ソニーでキャラIPの管理を手掛けるソニー・クリエイティブプロダクツ（SCP）が中心となり、2030年度までに売上高100億円の規模のIP育成を目指す。25年に専任チームを設け、社内外のクリエイターと共同で取り組んでいる。同社は一時100億円の半分までに縮小していた「スヌーピー」の日本市場をグッズ展開やアーティストなどと連携して立て直した実績がある。

「100億円IP」育成めざす

SCPによると、一般人気キャラを抱えるサンリオは年間約30億円のヒット商品を生み出す。SCPは「自分たちが育むべきキャラを育てたい」という思いで、社内・社外問わず、誰でもキャラを生み出すことができるようにしたい。SCPは「自分たちが育むべきキャラを育てたい」という思いで、社内・社外問わず、誰でもキャラを生み出すことができるようにしたい。

SCPは「自分たちが育むべきキャラを育てたい」という思いで、社内・社外問わず、誰でもキャラを生み出すことができるようにしたい。

専任部隊が開発、グッズ・アニメ化

かきまのネムー」だ。布団に入ると小さな不安を気にしすぎて寝付けず、つい夜更かししてしまつた。SCPは「自分たちが育むべきキャラを育てたい」という思いで、社内・社外問わず、誰でもキャラを生み出すことができるようにしたい。

任天堂やセガはキャラで稼ぐ

ソニック (セガ)

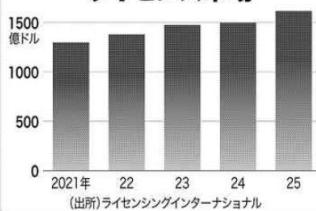
映画シリーズ3作の
累計世界興行収入が
12億ドル超



映画1作目の世界興収13億ドル。
2作目も10億ドル超

マリオ
(任天堂)

世界のキャラクター ライセンス市場



グラフィックス 武井由実

ソニーは、床の振動や音で再現された没入感を高める「ハプティクス」など、ソニーが持つ技術の活用も検討している。SCPは「自分たちが育むべきキャラを育てたい」という思いで、社内・社外問わず、誰でもキャラを生み出すことができるようにしたい。

ゲーム発も不足

ゲームでも任天堂の「マリオ」やセガの「ソニック」に敵わない。ソニーは「自分たちが育むべきキャラを育てたい」という思いで、社内・社外問わず、誰でもキャラを生み出すことができるようにしたい。

本柱を構成する。ソニーは「自分たちが育むべきキャラを育てたい」という思いで、社内・社外問わず、誰でもキャラを生み出すことができるようにしたい。

※赤のラインは、SBI岡三アセットマネジメントが加筆

(出所)2026年8月14日 日本経済新聞 朝刊

※上記は、個別銘柄の推奨を目的として示したのではなく、当該銘柄の株価の上昇および当ファンドへの組み入れを保証するものではありません。

この資料の最終ページに「本資料に関してご留意いただきたい事項」を記載しております。必ずご確認ください。

販売会社一覧

2026年8月26日現在

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。
なお、販売会社には取次販売会社が含まれる場合があります。

商 号	登 録 番 号	加 入 協 会			
		日本証券業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
株式会社SBI証券	関東財務局長(金商)第44号	○	○	○	○
岡三証券株式会社	関東財務局長(金商)第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			
岡三ビジネス&テクノロジー証券株式会社	関東財務局長(金商)第170号	○	○		
楽天証券株式会社	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
野畑証券株式会社	東海財務局長(金商)第18号	○			○

※株式会社SBI証券は、一般社団法人日本STO協会にも加入しております。

委託会社
お問合わせ先

電話番号
03-3516-1300(営業日の9:00~17:00)

ホームページ
<https://www.sbiokasan-am.co.jp>

ジャパン・クリエイティブコンテンツ関連株ファンドに関する留意事項

■ 投資リスク

基準価額の変動要因

投資者の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様に帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。

ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」、「特定の業種・テーマへの集中投資に係るリスク」、「流動性リスク」があります。

※「基準価額の変動要因」は、上記のリスクに限定されるものではありません。

留意事項

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要がある場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりの方が小さかった場合も同様です。
- ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファンドが投資対象とするマザーファンドを他のベビーファンドが投資対象としている場合に、当該他のベビーファンドにおいて追加設定および一部解約等がなされた場合には、その結果として、マザーファンドにおいても売買等が生じ、ファンドの基準価額に影響を受けることがあります。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。

■ お客様にご負担いただく費用

- 購入時手数料: $\text{購入金額}(\text{購入価額} \times \text{購入口数}) \times \text{上限} 3.3\% (\text{税抜} 3.0\%)$
 - 換金手数料: **ありません。**
 - 信託財産留保額: **ありません。**
 - 運用管理費用(信託報酬): $\text{純資産総額} \times \text{年率} 1.628\% (\text{税抜} 1.48\%)$
 - その他費用・手数料: 監査費用[$\text{純資産総額} \times \text{年率} 0.011\% (\text{税抜} 0.01\%)$]
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。なお、マザーファンドの当該費用につきましては、間接的にご負担いただきます。
(監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。)
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」の「手続・手数料等」をご参照ください。



商 号 等: SBI岡三アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第370号
加入協会: 一般社団法人資産運用業協会

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、当ファンドに関する情報提供を目的としてSBI岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている運用実績は過去のものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成日時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。■購入の申込みにしたがっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。